

平成30年度 第2回白根巨摩中学校自己評価書（後期）

平成31年1月11日作成

校長 飯野 芳重

記述者 教頭 岡 こそえ

学校教育目標

「やる気をもった人間性豊かな生徒の育成」

(1) 知・徳・体のバランスある4つの活動

「授業」「部活動」「合唱」「特別活動（学級活動・生徒会活動・学校行事）」

(2) 日常生活を創る「4つのこだわり」

「あいさつ」「時間」「服装」「清掃」

平成30年度 取り組み重点

1 学習意欲の向上と基礎学力の充実を図る

- ・わかる授業（楽しい授業） ・基礎的・基本的な知識・技能 ・思考力・判断力・表現力
- ・学びに向かう力 ・人間性 ・確かな学力 ・授業規律 ・家庭学習 ・本が身近にある生活

2 「特別な教科道徳」の完全実施に向け、道徳教育の充実を図る

- ・他者と共によりよく生きる基盤となる道徳性 ・豊かな心
- ・考え議論する道徳 ・22の内容項目 ・35時間の確保

3 生徒会活動における「4つのこだわり」の推進を図る

- ・あいさつ ・時間 ・服装 ・清掃
- ※なぜこだわるのか、なぜ大切なのか、意義付け、自治、自覚と成長

達成のためのカギ

- ①見える化 ②徹底 ③取組ベクトルの一体化

I 全体評価

※A：あてはまる5点，B：どちらかというにあてはまる4点，C：どちらかというにあてはまらない2点，D：あてはまらない1点 E：該当しない0点
教師は平均4.5を目標とした。（生徒および保護者については平均4.0を目標とした。）

全17項目中全ての項目が目標を上回る結果となった。また、前期では「特別活動」の指導にやや自信が持てない傾向が見られたが、学園祭や合唱コンクール等の行事に対する達成感から肯定的にとらえられたのではないかと考えられる。しかし、一方で、来年度から完全実施となる「特別な教科 道徳」に向けての時間の確保等に課題が残る。今後は、道徳的価値を自分事として理解し、検定教科書を使用する「考え議論する道徳」についてカリキュラム・マネジメントを行うことが急務であるとする。

II 各領域の評価	
1 学校運営	
達成状況	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員アンケート No. 3 「あなたは同僚との連携・協力を努めている。」や No. 4 ③ 「4つのこだわりの充実を図る」では、平均4.8と高評価になった。 ・教職員アンケート No. 4 ②の「特別な教科 道徳」についての項目では、「あてはまる」と自信を持って答えた割合が他の評価よりも低い傾向にある。 ・学校教育目標を達成するためのカギとして、「見える化」と「徹底」に取り組み、一定の成果を得ることができた。
対応	<ul style="list-style-type: none"> ・次年度に向けての課題を明らかにし、重点項目とする。特に、「特別な教科 道徳」の指導計画、別葉の作成、評価等を具体的に進めることが急務である。教員の不安をチャンスととらえ、準備を進めているところである。 ・組織力を高めるためには、個人の教師としての資質・能力の向上をめざすことが必要である。「やまなし人材育成指標」を意識し、キャリアステージに応じた目標設定と実践を促したい。
2 教科指導	
達成状況	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員アンケート No. 5 「あなたは基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得を目指した指導に努めている。」および、No. 6 「あなたは、生徒が主体的に表現し合う授業の創造の校内研テーマのもと、思考力・判断力・表現力及び主体的な学習態度の育成に努めている。」の2項目はほぼ前期と同様の結果であった。 ・教職員アンケート No. 7 「あなたは、生徒の学習習慣が確立するよう努めている。」は、「あてはまる」と回答した教員が前回より増え、0.1ポイント上がった。 ・保護者アンケート⑤「学校は、基礎学力定着のための指導をしていると思いますか。」の項目は約90%の家庭で肯定的にとらえている一方で、保護者アンケート④「お子さんは、授業の内容がわかっていると思いますか。」や⑥「お子さんは、家庭で勉強する習慣がありますか。(宿題・塾等も含む)の項目は他の数値よりも低い傾向にある。
対応	<ul style="list-style-type: none"> ・校内研究会において、全国学力・学習状況調査の結果分析を行い、教科横断的等カリキュラムについて意見交換することができた。 ・研究校の公開授業に積極的に参観できる体制がなかなかとれなかった。次年度は、教師の力量を高めるために研修の機会を活用できるよう、優れた実践から学ぶことを促したい。 ・各学年で教科の持ち物等、連絡帳に記録させるようにしているが、定期試験のための取り組みとともに日常的に活用の工夫を行うことも大切である。2学期から学年通信や学級通信をファイリングしたものを職員室に常備することで家庭学習の指導法の一助となった。 ・管理職や同僚による授業観察を日常的に行い、指導・助言および切磋琢磨する雰囲気は今後も醸成していく。 ・ICT 活用のための研修に積極的に参加し、それぞれが研鑽を深めるとともに各教科や学年等で共有していく。 ・「社会に開かれた教育課程」が新学習指導要領のキーワードになっている。出前授業や地域人材活用等の人的・物的体制の確保等教員の意識改革および授業改善を今後も継続していく。 ・保護者アンケートの数値の結果や記述内容から、基礎学力の定着や家庭学習の習慣について、学校への期待が伺える。「補充・発展の時間」の周知および内容の充実に向けて努力したい。

3 生徒指導について	
達成状況	<ul style="list-style-type: none"> ・全ての項目において目標を0.3ポイント上回っている。 ・生徒アンケート①「学校生活は楽しいですか。」は前期よりもやや下がったが、アンケート②「学校でのきまりや約束事が守れていますか。」の項目では、肯定的な評価が98.2%と極めて高い評価である。 ・「困った時に相談できる人はいますか。」も、前期よりも0.1ポイント上がった。
対応	<ul style="list-style-type: none"> ・「生活記録ノート」や「悩み事アンケート」、担任との二者懇談等生徒とのコミュニケーションを大切にした取り組みを行っている。生徒の心の変化を教師間で情報共有し、自己実現のための手立てを今後も継続して行っていく。 ・前回の学校関係者評価委員会の際、「地域のお祭りや育成会、体育協会主催の行事において中学生が積極的に参加してくれている。」とのお話を伺っているが、今後も地域の方々のご協力を得ながら、人的・物的資源を大切にされた教育活動を行っていききたい。
4 特別活動	
達成状況	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員アンケート No.12「あなたは、生徒の自治力・創造力の育成に努めている。」をはじめ、全ての項目で4.5以上の評価となった。 ・職員の意見からは、「2学期は行事も多く、慌ただしさも同時に感じるが、その中で目的をもって一人ひとりが役割を果たせたのではないかと思う。」や、「さまざまな行事を行う中で生徒もいろいろなことを考え、学ぶ機会があったと思う。教員として生徒が主体的に目標をもって諸活動に取り組めるよう支援していきたい。」等の意見があった。 ・生徒アンケート⑦「生徒会活動には積極的に参加していますか。」では4.7で前期よりも0.1ポイント上がった。 ・生徒アンケート⑧「行事は、みんなで協力して楽しくできていますか。」は肯定的意見が98%であり、高い評価となっている。 ・教職員アンケート No.14「あなたは、合唱活動等の適切な指導に努めている。」では、4.5、生徒アンケート⑨「合唱に意欲をもって取り組んでいますか。」でも4.8となり、苦手な生徒もいる中で肯定的な意見が98.4%という数字は高評価といえる。 ・保護者アンケートで「学校行事に保護者が参加する機会が多々あるので良いと思います。特に合唱コンクールは毎年見に行きますが、とても感動します。」等多くの保護者からお褒めの言葉を頂いている。
対応	<ul style="list-style-type: none"> ・学校評価における生徒アンケート結果だけでなく、各行事の反省として実施しているアンケートからも学園祭、合唱コンクール等の行事および生徒会活動全般を通して、多くの生徒が意欲的・主体的に取り組むことができたと回答している。来年度からの新学習指導要領をふまえた教育課程編成において、行事の目的等を精査し、他の活動とのバランスを考えながらカリキュラム・マネジメントを行うようにしたい。 ・学校における働き方改革が進められるなか、週当たり2日の休養日を設けるなど「運動部活動の在り方に関する総合的なガイドライン」(部活動ガイドライン)にそった適切な指導を今後も行っていく。

5 信頼される学校	
達成状況	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員アンケート No. 15「あなたは、教職員としての自覚を持って、職務に従事している。」の項目は4. 9となった。 ・No. 16「あなたは保護者・地域・関係機関との連携及び信頼関係の構築に努めている。」や、No. 17「あなたは危機管理（施設設備の点検，健康の保持増進及び安全の確保，事故・加害行為・災害等の未然防止及び対処，個人情報管理，綱紀保持等）に努めている。」は、ともに4. 7となった。 ・会議時における部活動指導や交通安全における自己管理能力の向上など、前期の学校評価で課題となったことについて、教職員がベクトルを合わせて取り組むことができた。 ・保護者アンケートの中で、「学校メールの配信が遅い時がある。」とのご指摘があった。 ・「よく怪我をする息子ですが、保健室で丁寧に見てくださり感謝しております。対応も早く、担任の先生も病院へ付き添っていただき、親としても信頼できます。」 ・「毎週丁寧に作成してくださる学年便りや学級だよりを毎回楽しみに読ませていただいています。学校や学級の様子がよくわかり、先生方が子どもたちを想ってくださることをひしひしと感じます。(略)」「学校、地域、家庭との連携・協力の大切さが常日頃感じることができて、子どもも安心して学校へ通っていると思います。」等多くの保護者からねぎらいの言葉をいただくことができた。
対応	<ul style="list-style-type: none"> ・リスクの先にあるクライシス(重大事態)を想定し、学校事故の未然防止について積極的に取り組んできたが、月に一度の安全点検を確実に行うとともに、施設・設備の不具合は市教委とも連携し、スピード感をもって対処したい。 ・今年度から電話連絡網を廃止し、学校安心メールで対応している。「配信が遅い時がある。」とのご指摘があったので、状況を判断した時点で即時配信できるものについては改善していきたい。 ・学校に防犯カメラ4台を設置し、不審者対策を強化した。
6 その他	
	<ul style="list-style-type: none"> ・評価欄に「どちらともいえない」or「わからない」を加えてほしい。 ・白根巨摩中に通いたいのでバスケット部(男子)をつくってほしい。 ・冬の部活動の時間が少なく本人も物足りなく感じております。下校時間の延長ができるのであれば希望します。 ・更衣室を確保してほしい。等